鉄スクラップ買値が500円下落

ーカー買値500＝3500ダー、ダライ粉の買値を500円下げたメーカーが数社ある。

メーカーへのスクラップ入荷量はこの1～2日急速に回復しており、日当たり購入計画量を上回るメーカーが続出している。先安と見たヤード業者がメーカーへの出荷を増やしている。

目先もジリ安含み。

鋼製鋼知豊愛と「省エネ、効率化」改善事例発表

VA展示会も同時開催

標と値を、建たスとこ結果500レッ

愛知製鋼（社長・藤岡高広氏）の調達先企業で構成する豊鋼会（会長・野口雅治愛豊商事社長）は1日、愛知製鋼本社近くの多目的ホール「アスカム」で改善事例発表会・VA展示会を開催、約120人が出席した。調達先のうち8社が省エネや生産性向上についての改善事例を報告した。

発表会では「素材切断工程省略化」「高周波加熱炉の省エネ化」などについて、小木曽工業、南海鋼材など8社が発表。金賞にアイチセラテック、銀賞に稲垣鉄工、銅賞に興亜耐火工業がそれぞれ輝いた。

安川会長が「ものづくり力を高めるために現場は大事。全体最適を常に意識してよりよい提案をお願いしたい」と講評したほか、藤岡社長が「コストアップ要因が多く厳しい事業環境となる中、VA提案は大変大事な要素になっている。今後も攻めの提案を頂き、ともに成長していきたい」と語り、会員各社を激励した。

VA展示会は、豊鋼会会員会社および会員外会社の約60社が出展。「創意と工夫、原点回帰で確かな進歩」をメーンテーマに、きょう2日も行われる。

鉄スクラップ3地区平均価格

3万2000円で横ばい

9月第5週 日本鉄源協

日本鉄源協会がまとめた9月第5週の鉄スクラップ（H2）は3万2千円で前週比横ばいだった。

地区別の価格は、中部が3万100円で前週比100円安と小幅に反落した。一方、関東は3万3200円、関西は3万2600円

線材製品協会 大阪で「防錆包装」テーマに講演会

線材製品協会技術委員会（委員長・安齋栄尚鈴木金属工業常務）は1日、大阪市内のアークホテル大阪で技術講演会を開催、100人が参集した。講師は左藤眞市大阪府立産業技術総合研究所金属表面処理科主任研究員。テーマは「防錆包装、腐食トラブル無く、お客様に届けるために」。

鉄鋼材料などを用いた製品や部品は、ユーザーに届ける際に防錆油や防錆紙などで対策をしても腐食するトラブルが多々ある。佐藤研究員は腐食原因を正しく理解するために、事例を交えつつ腐食防食技術の基礎を分かり易く解説。ユーザーに届ける際、腐食トラブル防止のポイントについても言及した。

鉄製工場 東京田原 鉄スクラップ検収規格

長さ「1500ミリ以下」に拡大

東京製鉄は10月1日から田原工場（愛知県田原市）の鉄スクラップ検収規格について、特Aと特級、一級、二級の「1500ミリ以下」から「1500ミリ以下」に改定した。スクラップ挿入設備の一部を改造したことで、より長いスクラップにつなげる狙い。

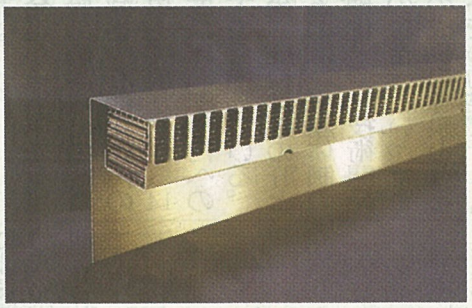
同社の岡山、九州、宇都宮工場の鉄スクラップ検収規格はこれまでも長さは「1500ミリ以下」だった。今回の改定で全4工場の長さ規格が「1500ミリ以下」に統一された。

三菱電機 昇降機の開発検証施設開設

三菱電機は、昇降機材の品質管理を強化し、拡大傾向にあるグローバル需要の捕捉を強化する。東海地区のQMセンターを建設した。

同センターは鉄骨造、地上3階建て（一般建築物では6階建て相当）建屋面積は1925平方メートル（延べ床面積5800平方メートル）。主要設備は昇降機試験装置、環境試験用エレベーター、シャフトなど。巻上機、ワイヤーロープ、ブレーキなど昇降機の安全

ハウゼコ



GOOD DESIGN AWARD 2014

笠木下換気部材「アンタレスミニ」「グッドデザイン賞」を受賞

換気部材メーカーのハウゼコ（本社・大阪市中央区、社長・神戸睦史氏）の独自製品である笠木下換気部材「アンタレスミニ」＝写真＝（特許取得済み）がこのほど、日本デザイン振興協会主催の14年度グッドデザイン賞を受賞した。

住宅のバルコニー回りは防水上の弱点になりやすいが、アンタレスミニは手すりの上端部の防水性と通気性を同時に納まり良く確保できる点が評価された。

笠木周辺は工程が入り組む部位であり、水トラブルが多発している。アンタレスミニは1㍍当たり99平方㌢と十分な通気を確保しつつ、安全で確実な防水性能を持つ。

「アンタレスミニは笠木下換気の決定版だと自負している。グッドデザイン賞受賞は、アンタレスミニの優れた機能を評価していただいたものであり、喜んでいる」（神戸社長）。

ハウゼコは開発から生産まで自社で一貫して行っている。特許製品14点を持つことも強み。